

【調布キャンパス】

「明治大学環境展 ～ECO ACT MEIJI～」

環境に配慮された施設設備の紹介

(1) 省エネ対策施設について

◆ 屋上に設置されている氷蓄熱エアコンシステム



★氷蓄熱ビル用マルチエアコンシステム

冷房シーズンは夜間蓄熱ユニット内に氷を作り蓄えます。昼間は蓄えられた氷を利用して冷房運転をします。暖房シーズンは夜間蓄熱ユニット内に温水を作り蓄え除霜等の熱源として利用します。夜間に電力を移行して使用する場合、夜間の電力料金は割引され、ランニングコスト低減に役立っています。

◆ 地下1F機械室に設置されている雨水ろ過装置



★雨水ろ過装置

雨水をろ過し蓄え、トイレなどの雑用水（中水）として利用することで、水道使用量を抑えることができます。

(2) 調布キャンパスの総合管理について

◆ 電力・室温・照明の一括管理



調布キャンパスは総合管理として1階北門守衛室にて、室温調整・電力管理を始め、雨水の再利用や、廃棄物の分別管理など、調布キャンパス設備全般の管理を行っています。

調布キャンパスの省エネに関しては、ある程度の総合的な管理は可能ですが、その多くが運用努力にても賄われている状況です。生徒・教職員、実際にキャンパスを利用する人々の理解と協力がなければ、中等教育の一環とも思われる、本来の環境問題や省エネルギーへの意識づけは為されないものと思います。「利用しない教室を消灯する」、「ごみの分別を徹底する」等、環境に対して継続的なご協力をお願いしています。

以 上